

東京都八王子市は多摩地区の経済をけん引する都内最大の市で、多様な業種、規模を問わず多くの企業が集まる。市内に立地する大学も多く、産学連携も盛んだ。多摩地区が上昇気流に乗るために、八王子市周辺企業が担う役割は大きい。八王子商工会議所工業部会内の若手経営者らが参加する次世代工業研究会（次工研）は、2012年に立ち上がった。設立から8年目を迎えた次工研の田野倉寛会長（京西電機社長）に八王子市周辺企業の動向や次工研の活動などについて聞いた。



田野倉 寛氏

コロナ禍長期化懸念

「次工研の概要や活動については、視察研修は年一回実施、先進工場の見学は経営にも役立つ。また、会員相互で工場見学を行っている企業もある。勉強会も毎月何らかの活動をしている」

「工業関連の企業で影響が大きかったと、それほど感じていない。1-2割受注が落ちたという話は聞くが、半減したという企業は聞いていない。しかし、この新型コロナウイルス禍が長期化すると「厳しい」と感じる経営者は多いようだ。このような中、経営者が最も気を配っているのが資金的な部分。手厚く調達していたり、調達の準備を進めている経営者が多いと思う」

人材マッチング計画

「次工研設立の目的はモノづくりに関する技術勉強会の実施、会員相互の交流とネットワーク構築、工業振興に資する事業の推進だ。八王子周辺の企業は『世界に通用する技術』を持つ企業が数多くある。若手経営者の集う場を作り、企業間横串を通すこと、できれば受発注のネットワークに広げようという取り組み」

「現在62社が参加しており、具体的な活動は勉強会や社外から講師を招いた講演会、視察研修などを行っている。中小企業の経営者は取引がないと、大規模な工場を視察する機会はない。このため、視察研修は年一回実施、先進工場の見学は経営にも役立つ。また、会員相互で工場見学を行っている企業もある。勉強会も毎月何らかの活動をしている」

八王子発モノづくり発信

「今後、力を入れていきたい活動などあり。次工研のメンバーは年齢が高くて50代といふことで、そこまで深い情報交換は今後も有益で、さらに必須になるだろう」

若手経営者、工業振興で集う

東京 TAMA 多摩地区 産業・企業特集

「八王子発のモノづくり」を発信すること、次工研のメンバーが集まり具体的な製品を作ることを目指したい。それには八王子企業の技術をどう生かすか、リーダーシップと発想力がカギになる。次工研の活動目的にもあるが、八王子市、広い意味での多摩地区の工業界が発展していくことを念頭に置いて活動していく。次工研の製品作りがこうした工業振興に貢献できればよい」

部品調達～基板実装～ユニット生産までおまかせ下さい

- ▶ SMT実装ラインおよび各種検査機器を社内保有しております
- ▶ 医療機器用カスタム電源の開発・部品調達・生産まで一貫した対応が可能
- ▶ 電池搭載ME機器の満充電が一目瞭然

各種医療機器用電源・プリント基板実装およびユニット組立・検査

本社 〒193-0835 東京都八王子市千代町4-7-17 TEL 042-629-2333代  
山梨工場 〒409-3611 山梨県西八代郡市川三郷町大塚1064-7 https://kyosai.co.jp

